

第一回 日本赤十字社長崎原爆病院



# 大規模災害訓練

Feb 18  
2023



## contents

ご挨拶 …………… 2  
大規模災害訓練 各エリア活動報告 …………… 3 - 9  
安否確認について…………… 10  
皆様からの御助言・御要望…………… 11  
編集後記……………11

人間を救うのは、人間だ。  
Our World. Your move



## ご挨拶

日頃より災害拠点病院運営委員会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年度の大規模災害訓練においても、業務がお忙しい中ご参加頂き誠にありがとうございました。お陰様で大変実りある訓練にすることができました。

また、終了後のアンケートにおいて様々な御助言、御意見を頂きました。今後の大規模災害訓練をより良いものとしていくため、今回の訓練内容(写真・動画)や良かった点、改善点をご紹介します。

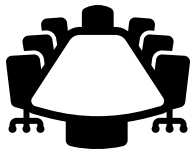
動画ファイルにつきましても、以下の QR コードより閲覧可能ですので、ぜひご参照ください。

動画ファイルはこちらから>>>



公開期間  
~12/31

[https://drive.google.com/drive/folders/1m89FG8LQymP3w\\_D4YOjf2JAAwMydpA\\_G?usp=share\\_link](https://drive.google.com/drive/folders/1m89FG8LQymP3w_D4YOjf2JAAwMydpA_G?usp=share_link)



## 災害対策本部

災害時の迅速かつ効果的な対応を行うための指揮・調整、情報収集・分析、情報提供などの役割を担う  
災害対策本部が指揮を取り、現場での救援・支援活動の調整を行う

### 良かった点

- ・準備物の把握や動きの確認が出来た
- ・特に混乱はなく、報告された情報を整理できた
- ・必要な要件はクロノロでまとめることができた
- ・トリアージエリアからの入院依頼に対する調整を行えた

### 反省点

- ・被害状況報告の第一報を記入後、すぐに記入担当者へ渡さず数枚ためてから渡していたので、記載が遅くなった  
至急対応が必要な場合の目印を決めておくことが必要
- ・職員安否確認データに所属部署の項目がなかった
- ・各トリアージエリアや病棟師長へ連絡をとる際に PHS 番号が分からなかった
- ・本部として、ブリーフィングする時間を定期的に持てていなかった
- ・時間毎の空床状況をクロノロへ反映出来ていなかった

### 今後の展望

- ・第一報体制のルール決め(誰が報告するか)
- ・マンパワーをどこに割くかを慎重に検討することが必要
- ・所属部署入りの職員安否確認データの作成方法を確認し、マニュアルを作成しておく
- ・一人読み上げ役がいるとスピードアップした情報集約ができる
- ・総括票は大画面モニターなどに投影すると情報共有しやすい
- ・本部に各部署責任者の PHS 番号を掲示する
- ・第一報のシートの PHS1.2.3 と記載する欄に所持者の記載欄があると良い





## トリアージエリア

被災者の状態に応じて医療提供の優先度を判断するための場所  
災害現場において迅速で適切な医療活動を行うために非常に重要な役割を果たす

### 良かった点

- ・搬送班との引き継ぎ
- ・開始前の役割分担
- ・正確なトリアージ

### 反省点

- ・トリアージタグの取り扱い、来所人数の把握
- ・開始後の役割分担の臨機応変な組み換え
- ・トリアージ番号の重複
- ・リーダーがトリアージの役割をしていたため、現場が混乱した時に修正してまとめる人がいなかった



### 今後の展望

- ・タグの番号は事前に記入しておく
- ・リーダーはまとめ役に徹して、必要時は看護師もトリアージの役割を担う
- ・人員を増やす
- ・院内に搬送前の待機場所などを作りエリアが混雑している時はそこで第2トリアージなどを行うことも検討
- ・入口で患者の番号をつける







## 重症エリア

### 良かった点

- 患者が搬送される前にスタッフ間で打ち合わせができた所
- 主事が処置記録をしてくれたので助かった

### 反省点

- 入院が決まっても師長が忙しそうでなかなか声がかけれなかった
- 診察する医師、スタッフ不足
- 連絡役もしくは状況把握のためのサブリーダー的存在が必要
- 師長は連絡調整で忙しかったため、師長以外で誰か中央で取りまとめ指示する人が必要

### 今後の展望

- 電子カルテが使えるなら電子カルテやピッチは多い方がいい
- 看護師やリーダーの医師は診察しないなど、全体を指揮する人が必要
- 電子カルテ以外で、情報を残す時の書式をあらかじめ決めておく
- ホワイトボードの記載方法も、すぐに活用できるフォーマットがあれば良い
- 慣れた場所で慣れたメンバーでチームを組む  
(赤エリアは特に慣れた救急外来のメンバーでやりたい)
- 医師、看護師以外のコメディカルの役割、訓練が必要





## 中等症エリア

### 良かった点

- ・医師と連携して記録や患者観察ができた
- ・短い時間で診療体制を整え、診療を開始できた

### 反省点

- ・ベッド配置が上手くできず、酸素や吸引をした場合通行の妨げになる場合や、ストレッチャーが通りにくいことがあった。
- ・誰が診ているのか、誰が家族に連絡するのかなど共有が甘いところがあった
- ・主事の役割分担、エリアの導線、電カルの記録

### 今後の展望

- ・黄色エリアの簡易ベッドのレイアウトに問題があった
- ・災害時用の共通のカルテ雛形やルールが必要
- ・電子カルテが少なかった
- ・家族の待合場所の確保
- ・汚染された人が多いと思うのでグローブ、手指消毒、エプロン等が必要  
またその置き場所の確保、発災時どこから調達するか





## 軽傷エリア・傷病者役

### 良かった点

- ・緑エリアの動線など確認できた
- ・安全に行えた

### 反省点

- ・傷病者役でトリアージエリアに行った際に、どなたも呼びかけに答えてもらえずに待たされた
- ・出入口に1人配置し、受付やトリアージタグの通し番号記載などを行ってはどうでしょうか
- ・被災者役としてトリアージを受ける際に名乗る前に設定表を読み上げられた
- ・トリアージ後、待たされている間の観察や声掛けが少なかった
- ・赤エリアに搬送されて処置後の観察も少なかった
- ・搬送されたが日赤職員として入社の際、搬送の仕方だけでも指導したらどうでしょうか

### 今後の展望

- ・実際に検査オーダーをされたが、季節に応じた感染症（インフルエンザやコロナ）など、赤、黄色エリアの患者さんには必要ないか
- ・季節に応じた災害時検査オーダーセットなどを予め設定されていたらスムーズな検査、処置ができるのではないか
- ・訓練を定期開催し、いろんな場所を担当したい





## ベッド増設班・搬送班

### 良かった点

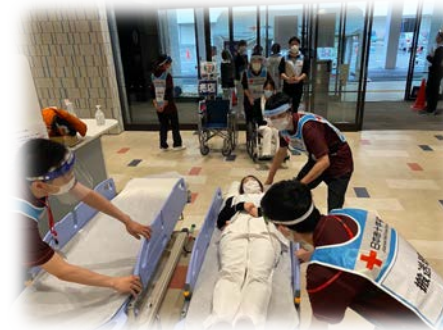
- ・搬送をスムーズに行えた ・同じ班のスタッフと声掛けをしながら行動が出来た
- ・トリアージタグの運用方法が理解できた
- ・ストレッチャーや車椅子をぶついたりすること無く、安全に各場所へ搬送することができた

### 反省点

- ・入院させるために病棟へと搬送したが、エレベーターホールに誰もおらず、その場合の連絡先も知らなかったためそのまま元の場所に戻った
- ・他の班との連携や担当の班長との連携が上手くできなかった
- ・手が空いているがどう動いてよいか分からない時間があった
- ・搬送する際、患者や患者に繋がれている医療器具の扱い方があまりわからなかった

### 今後の展望

- ・搬送は二人組の場合はどちらかがストレッチャーに慣れている組み合わせにした方がいいと思う
- ・リーダーの指示で行動すると指導を受けていたが、不測の事態で持ち場を離れられることがあるため、係によっては副リーダーも設けてみてはいかがでしょうか
- ・傷病者役は、ユニフォームではないほうがいいと思いました
- ・処置室(黄色エリア)の診療ベッドや空間が狭く、車椅子での搬送が行いにくかった
- ・被害状況や天候にもよりますが救急車の搬入や軽傷の待機場(帰宅困難者向け)などの訓練もあって良いのではないかと







## 受付班

### 良かった点

- ・受付のみに関しては滞りなくできた
- ・3人である程度役割を決めてから取り組んだ点

### 反省点

- ・患者の黄色、赤色の振り分けができなかった

### 今後の展望

- ・トリアージタグに生年月日を記載する欄がない
- ・二重登録を防ぐために名前の下に記載すると決めておいたらどうかという意見が出た



## 報道班対応班

### 良かった点

- ・LINE を利用しての迅速な連絡

### 反省点

- ・プレスリリースは当日の流れ、特に時間が記載された資料を配布した方が良い

### 今後の展望

- ・電子カルテノート端末は設定が異なるので指定端末を使用する運用が良いと思う



# 皆さんにご協力いただいた安否確認は本部に反映されます！

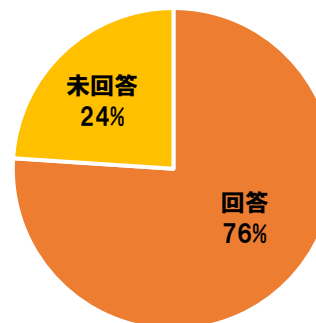
## 1.メール受信



## 2.回答



## 4.回答率



おかげさまで76%の方々からご回答いただきました  
引き続きご協力をお願いします

## 3.災害対策本部で管理

統計年月	統計年月名	メール配信日	ユーザID	氏名	自身安否状況	出社可否	家族安否状況	連絡事項
2.02302E+13	2023年02月15日 16時12分	2023/2/15	20020		無事です	出社可能	全員無事です	
2.02302E+13	2023年02月15日 16時12分	2023/2/15	20021		無事です	出社可能	全員無事です	
2.02302E+13	2023年02月15日 16時12分	2023/2/15	20027		無事です	出社可能	全員無事です	
2.02302E+13	2023年02月15日 16時12分	2023/2/15	20028		軽傷です	出社可能	全員無事です	30分以内に到着できます。
2.02302E+13	2023年02月15日 16時12分	2023/2/15	20075		無事です	出社可能	全員無事です	
2.02302E+13	2023年02月15日 16時12分	2023/2/15	20076		無事です	出社可能	全員無事です	
2.02302E+13	2023年02月15日 16時12分	2023/2/15	22018		無事です	出社可能	全員無事です	特になし
2.02302E+13	2023年02月15日 16時12分	2023/2/15	22021		無事です	出社可能	全員無事です	
2.02302E+13	2023年02月15日 16時12分	2023/2/15	22065					
2.02302E+13	2023年02月15日 16時12分	2023/2/15	22067		無事です	出社可能	該当せず	
2.02302E+13	2023年02月15日 16時12分	2023/2/15	22069		無事です	出社可能	全員無事です	特になし
2.02302E+13	2023年02月15日 16時12分	2023/2/15	2302		無事です	出社可能	全員無事です	特にありません。訓練頑張りましょう。

# 大規模災害訓練全体に対するご意見・ご要望

- ・訓練の時間帯がよくなかった、休日開催なら午前中がよい
- ・黄色エリアのスペースが狭い
- ・本部の連絡先を分かりやすく掲示してほしい
- ・全科カルテにしないと他科医師の記載内容が出てこない
- ・ポータブルレントゲンや物品は、実際使うとなるともっと時間がかかる
- ・他病院の災害シミュレーションでは患者役の怪我のメイクや演技がリアルだった、リアリティを出して混雑したほうが実災害に近くなるのではないかと
- ・各セクションの動きが外からは分からないため、各エリアの訓練の様子をリアルタイムの映像で見たい
- ・運営委員が不在でもスムーズに実働できるよう、発生時の必要物品(各エリアごと)が何処にあるかを全職員に周知が必要
- ・役割のマニュアルを全て共有フォルダに準備してほしい
- ・安否確認メールは、全職員に送ってみても良いのかと思いました。
- ・情報が受付に集中し、一覧表に転記する時間に遅延があり、各担当者への伝達に時間を要した
  - 受付後の情報伝達順番は、ライフライン把握後、一覧表示、もしくは、重要な内容の部門へ提供するのはいかがでしょうか
- ・参加スタッフは、誰がどの役割で何時から何時まで参加するのかを明確にし、本人と各部署へ報告する必要がある

## ・・・編集後記・・・

まずはこの拙い広報誌を最後まで読んで頂き誠にありがとうございます。今回作成を担当いたしました、リハビリテーション科理学療法士の松崎です。

広報誌をまとめながら多くの感想や建設的な意見を目にして、災害訓練に対する職員の皆様の一体感を感じました。皆さんからの意見を今後の訓練に活かしていきたいと思います。

私は当院に在籍して9年目になりますが災害救護に興味を持ったのは、就職して2年目の熊本地震の時です。そこから災害救護を学びたいと思い、常備救護班基礎・中級研修を受講し、災害拠点病院運営委員会(当時は災害ワーキンググループ)の一員として、大規模災害マニュアルの作成や常備救護班研修の運営スタッフなどに関わるようになりました。初めは、災害についても院内のことについても右も左もわからない中で、当委員会には妙にキャラの濃い方々が集まっており、皆さんの熱量を感じながら日赤としての災害救護の役割について学んできました。また、DMAT養成研修も受講させていただき、クラスター発生施設の支援活動などDMATとしての活動も経験致しました。災害発生時に救護班やDMATとして活動できるのも、多くの方の理解や協力、支援があつてこそだと出勤するたびに感じております。まだまだ若輩者ですがこれまで様々な経験をさせて頂きました、今後も当院の災害救護に貢献していけるよう研鑽していくとともに、たくさんの仲間を作っていきたいと思っております。災害救護に興味がある方はぜひ一言お声掛けくださると嬉しいです。